

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

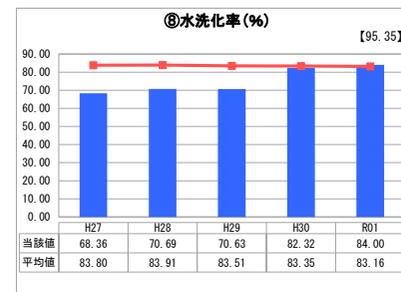
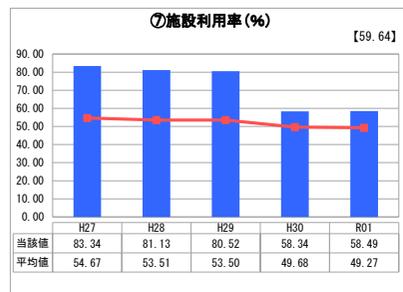
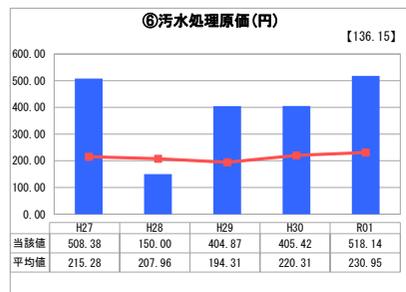
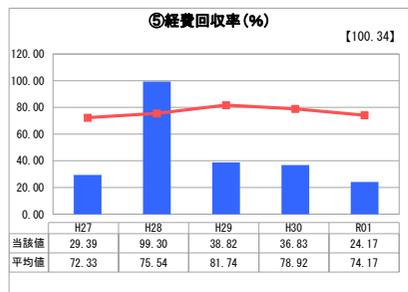
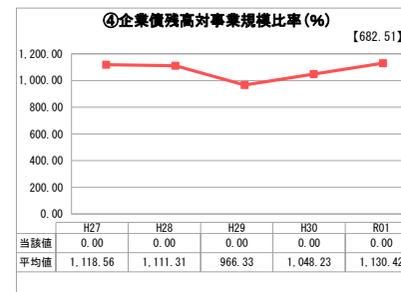
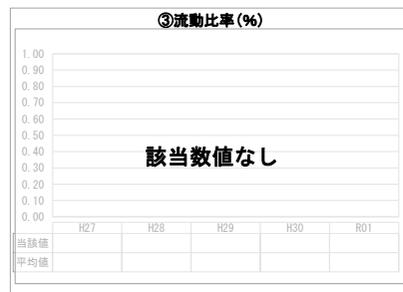
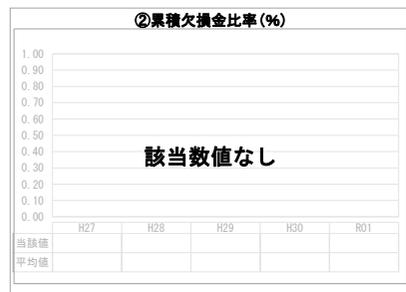
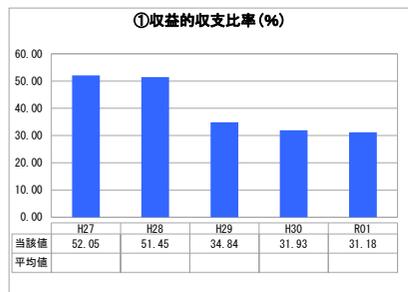
福島県 相馬市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	54.57	75.45	2,860

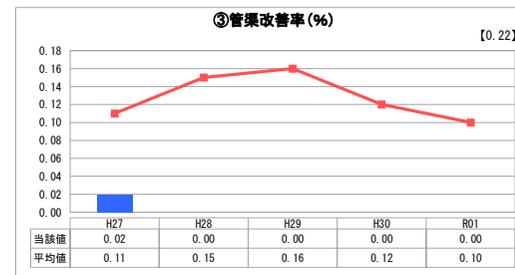
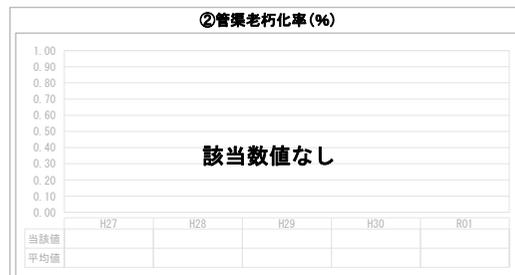
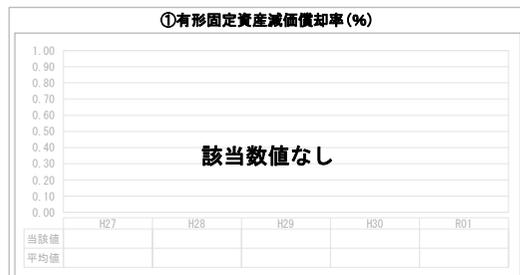
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
34,708	197.79	175.48
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,824	8.12	2,318.23

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①使用料収入等で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えるかを表す「収益的収支比率」は、前年度と比較すると横ばいとなった。数値が100%未満は赤字の収支であることを考えると、財源確保等の経営改善を図る必要がある。

⑤経費回収率は24.17%と、前年度より12.66%減少した。使用料収入に対する汚水処理費の抑制が必要である。

⑥有収水量1m<sup>3</sup>あたりのコストで汚水処理原価は、他自治体平均の2.24倍の1m<sup>3</sup>あたり518.14円となっている。前年度よりもコストが増加していることから、有収水量に対してのより最適な処理方法を検討していく必要がある。

当市では下水道地域の未接続世帯への接続勧奨を行っているが、今後も継続した勧奨により接続率、経費回収率等の増加を目指す予定である。

### 2. 老朽化の状況について

当市では、現在、耐用年数に近い資産を多く保持していることから、今後は長寿命化のための建設改良費や維持管理費の増加が見込まれる。相馬市下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的・効率的に維持管理をすすめていく予定である。

### 全体総括

令和2年度より、公営企業会計の財務適用となり、企業の経営成績や財務状況やストック情報を早期に把握することで、健全経営のための自己検証が可能となる。今後はより最適な処理方法を検討、実施ができるようになるため、資産の長寿命化や汚水処理費の削減をはじめ、維持管理費の適正化や積極的な財源確保のための経営改善をすすめていく予定である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。